

第6回滋賀県多職種連携学会研究大会 報告書

学会テーマ：『多職種で考える！ ～With コロナ社会の新しい視点～』

開催日時：令和3年12月5日（日） 13:00～16:30

開催形式：ZOOMを用いてのオンライン開催

会長：越智 眞一（一般社団法人滋賀県医師会 会長）

実行委員長：鈴木 聡（一般社団法人滋賀県病院協会 理事）

●開催概要

開催のあいさつ

学会長挨拶



企画演題

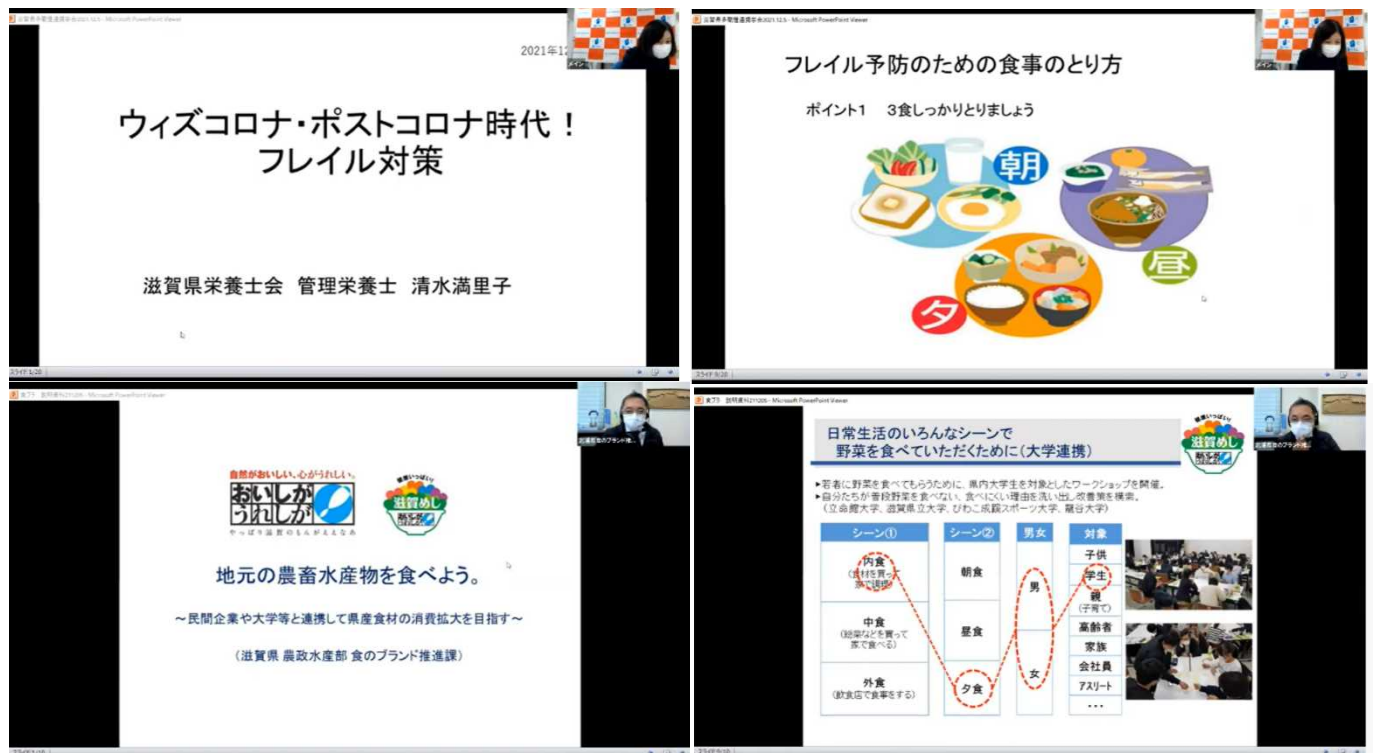
○「ウィズコロナ・ポストコロナ時代！ フレイル対策」

講師：清水 満里子 氏（公益社団法人 滋賀県栄養士会 副会長）

「滋賀県の『食』とそれに関する取り組み」

講師：北浦 裕之 氏（滋賀県農政水産部食のブランド推進課 主幹）

全体進行：澤谷 久枝 氏（公益社団法人滋賀県栄養士会 会長）





一般演題発表

セッション1

座長	演題 番号	演題および筆頭演者
滋賀県障害 者自立支援 協議会 大平眞太郎	1	「広げよう支援の輪 医療的ケア児の摂食嚥下障害」 京滋摂食嚥下を考える会第11回大会 web 開催の報告 京滋摂食嚥下を考える会 高嶋 典子
	2	医療と教育のより良い連携体制を目指して ～ICT を活用して～ 滋賀県立リハビリテーションセンター 梅居 奈央
	3	老健における COVID-19 罹患後の支援について 介護老人保健施設こちの郷 小菅 知子

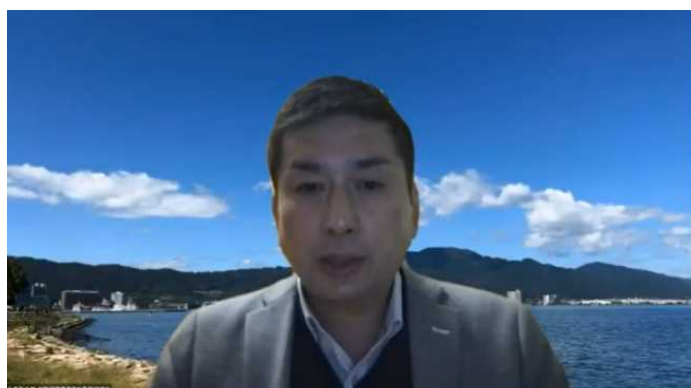
(座長コメント)

演題1は医療的ケアを必要とする重い障害のある人や子どもの摂食嚥下について、生活全般をとらえながら食の豊かさを保障していくことの重要性について考える研修会の実施についての報告であった。

演題2は特別支援学校に在籍する児童に対して医療と教育さらには福祉の連携を図るために、支援現場での映像を関係者によるオンライン会議で確認しながら検討した実践は、コロナ禍においても支援の質を高める取組の報告であった。

演題3は老人保健施設においてまだ全容が明らかになっていない状況の新型コロナウイルス罹患後の対象者を受け入れるにあたって、施設職員が安心して適切な対応をできるように、情報共有等に配慮することの重要性について実践から確認された事例の報告であった。

いずれの取組もコロナ禍においても、障害のある人や高齢者の生活を守ること、豊かにしていくことへの真摯な関係者の姿勢が実践に表れており興味深いものであった。



セッション2

座長	演題 番号	演題および筆頭演者
滋賀県 医師会	4	TOKYO2020 パラリンピックにおける MEDICAL の活動内容 車いすバスケットボール会場 びわこリハビリテーション専門職大学 安田 孝志
	5	オリンピック選手村内に開設されたポリクリニックにおける 各職種の連携と役割 びわこリハビリテーション専門職大学 和智 道生

(座長コメント)

東京オリンピック・パラリンピックに医療サポートとして参加した2名の理学療法士の発表であった。安田氏はパラリンピックの車椅子バスケットボール会場での選手への対応、和智氏はオリンピック選手村内のポリクリニックでのサポートについての報告であった。いずれも貴重な経験を、多職種連携の観点に立ってわかりやすくまとめられていた。多職種が連携して仕事をする場合に必ず起こる問題が、各職種間の狭間に生じた事案の処理であるが、今回の発表の中でも問題点として挙げられていたのが興味深かった。滋賀県では2025年に国民スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会の開催が予定されており、オリパラのような大規模なメディカルサポートとは比べようもないが、医師、PT、トレーナー、歯科医師、栄養士などの多職種が関わった体制を作っていかなければならない。今回紹介されたスマホなどを使った情報伝達ツールは、連携の狭間のミスを防ぐ意味でも2025年に活用を検討すべきではないかと感じた。

医療的ケア児の現状について

「食べることは人生の喜びの1つ」
医療的ケア児は全国に2万人
このうち人工呼吸器装着4178名（平成30年）
多くは歯科検診を受けていない

参加対象：教育、行政、医療・福祉関係、家族を
ターゲットに専門職に支援の輪を広げたい

Web開催でこれまで行ってきた実技セミナーに代わる
双方参加型の大会ができないか

Web開催
利点：自宅参加可能、アンケート機能
ディスカッションを検討
欠点：人数制限

まとめ

- 「障害のある児童が通う地域の学校への支援事業」を実施した。
- オンラインで実施することで関係者が集まりやすく、タイムリーな支援の実施ができた。
- 動画を提示することで情報共有しやすく、課題解決に向けた助言により支援の方向性を関係者で共有できた。

今後も当センターの学校支援においては、児と家族を中心に置いた関係機関との支援ネットワーク形成の促進を目指したいと思う。



基調講演

○「コロナ禍から見える心のしくみ～偏見や差別はなぜ起こる?～」

講師：三浦 麻子 氏（大阪大学大学院人間科学研究科教授）

座長：川崎 浩子 氏（公益社団法人 滋賀県理学療法士会 理事）



閉会のあいさつ

実行委員長挨拶

